

瀬戸内海に出現した小型のベニクラゲとその初期ポリプ

久保田 信*・山田 豊隆**・武田 曜男**

Shin KUBOTA, Toyotaka YAMADA and Teruo TAKEDA : Occurrence of medusae of the small type of *Turritopsis nutricula* (Hydrozoa, Anthomedusae) and its primary polyp from the Seto Inland Sea, Japan

ベニクラゲは、これまで瀬戸内海ではごく少数しか採集されておらず、日本産2型のうちでは大型に属する成熟個体がただ1個体だけ記録されていた(久保田ほか, 2003)。今回、神戸市須磨区の須磨海浜水族園の前にあるヨットハーバーで、2005年8月20日に雌雄の成熟したベニクラゲがプランクトンネットの表層曳きで採集され、形態を観察した結果、南日本に分布する小型の型であることが判明し(久保田, 2005; Kubota, 2005)、この海域からの初記録となったので報告する。さらに、これら雌雄1個体ずつを60ccのポリスチレン容器で一緒に入れて濾過海水中で飼育したところ、2週間後に初期ポリプの2個虫が誕生したので(図1)あわせて報告する。

瀬戸内海産ベニクラゲの成熟クラゲ(小型)の形態

性	傘の高さと直径(mm)	触手数と環列数	口柄の色
雌	1.5・1.4	31・1	黄褐色
雄	3.0・3.0	34・1	黄褐色

初期ポリプ2個虫の全長は、それぞれ0.88mmと0.75mmで、両者とも6本の触手を形成していた。この初期ポリプの記録は日本で初めての報告である。

Summary

The small morphotype of the medusa of *Turritopsis nutricula* McCrady was collected for the first time in the Seto Inland Sea, Japan in August, 2005. The medusa had up to 34 tentacles in one row and an umbrella attaining up to 3.0 mm in diameter and height; the primary polyp, up to 0.88 mm in length, had 6 tentacles.

引用文献

久保田 信. 2005: 神秘のベニクラゲと海洋生物の歌“不老不死の夢”を歌う. 114 pp., 1 CD. 不老不死研究会, 白浜町.



図1 神戸市須磨産のベニクラゲの初期ポリプ
Fig. 1. The primary polyp of a *Turritopsis nutricula* from Suma, Kobe City in the Seto Inland Sea, Japan.

KUBOTA, S. 2005: Distinction of two morphotypes of *Turritopsis nutricula* medusae (Cnidaria, Hydrozoa, Anthomedusae) in Japan, with reference to their different abilities to revert to the hydroid stage and their distinct geographical distributions. *Biogeography*, 7, 41-50.

久保田 信・小林亜玲・河原正人・上野俊士郎. 2003: 瀬戸内海で初めて採集されたベニクラゲ(花クラゲ目, クラバ科)の成熟個体. *南紀生物*, 45(2), 148-149.

* 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所
E-mail: shkubota@medusanpolyp.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

** 〒654-0049 神戸市須磨区若宮町1丁目3-5 神戸市立須磨海浜水族園